

岐阜県ユニセフ協会出前授業のご案内（オンライン授業も可能）

当協会では、身近なところから世界へ視野を広げる子ども、身近なことから行動する子どもを増やしていきたいと願い、体験活動も取り入れながら出前授業を行っています。ぜひご活用ください。

①学校でのSDGsの学習に

～総合的な学習の時間に出前授業を生かす～

<ねらい・内容>

- ・同世代の子どもの状況を通して世界を知る。
- ・よりチャンスが多い自分たちの暮らしに気づく。
- ・自分たちのできることを考え、行動につなげる。
- ・SDGsの目的を達成するためのユニセフの活動を知る。



ユニセフ（国際連合児童基金）とは
世界の子どもたちのいのちとすこやかな成長を守るために活動する**国際連合の機関**です。

小・中・高 願いや実態に合わせて実施します
☆写真や動画資料を使って説明をします。
☆実感をもって理解できるよう 体験型ワークショップも用意しております。
☆SDGs学習のきっかけとしての活用、ユニセフに関連する目標について学習を深めるための活用など、先生方の願いに応じて実施します。
(どの時期でも実施可能です。)

ユニセフはSDGsとどう関係しているの？

ユニセフの活動分野はSDGsの17の目標のうち12の目標に関連しています。



ユニセフの活動分野

- ・子どもの生存と成長
- ・教育
- ・子どもの保護
- ・水と衛生
- ・公平な機会

②6年社会科「世界の未来と日本の役割」の学習に

<ねらい・内容>

- ・国際連合（ユニセフ）では多くの国々が協力して平和と安全、人類の福祉のために活動しており、日本人々もさまざまな活躍をしていることを理解する。
- ・世界の子どもの状況、課題に取り組むユニセフの活動、ユニセフの職員がどういう思いで取り組んでいるか理解し、自分ができることを考えるきっかけとする。

☆教科書（東京書籍）でも、国際連合の取り組みが具体的に理解できるように、ユニセフの活動が取り上げられています。（P98～99）
☆3学期に学習する単元なので、それに合わせて実施します。

③人権（子どもの権利）について学ぶ学習に

<ねらい・内容>

- ・子どもの権利条約やユニセフを知り、世界の子どもや自分たちの権利について考えることにより、すべての人の権利を尊重しようとする意識を育てる。

「人権」はSDGsのキーワード

ユニセフの目指す世界は「子どもの権利が実現される世界」です。ユニセフは「子どもの権利条約」のもとに、すべての子どもの権利の実現を目指して活動しています。

☆この学習をひびきあい活動として実施された学校もありました。
☆PTAの研修会、各種団体の研修会など、大人向けの出前授業も実施可能です。

☆岐阜県ユニセフ協会ホームページにある活動実績、活動内容もご覧ください。

◎授業展開例、手続きの方法は裏面をご覧ください。

◎連絡先：岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1階

TEL：058-379-1781 FAX：058-379-1782

E-mail：gifuken@unicef-gifu.jp

事務所業務時間 午前10:00～午後4:00（水・土・日・祝日休み）



岐阜県ユニセフ協会出前授業申込

授業展開例

<p>① 「SDGsとユニセフの活動」 総合的な学習の時間での展開例 45分(50分)×2※</p>	<p>② 「子どもの権利とユニセフの活動」 ひびきあい活動での展開例 45分(50分)×2※</p>
<p>1 ユニセフについて紹介、目指すこと</p> <p>2 世界の子どもたちはいま ・新型コロナウイルス、紛争の影響 ・気候変動の影響 ・水を得るための苦勞(子どもとの関連) ・働かなければいけない子ども ・栄養不良の影響 ※SDGsの目標と関連させて説明</p> <p>3 4つのブースに分かれて体験学習 ・栄養不良の子どもの大変さを実感する体験 ・水運びの大変さを実感する体験 ・学校に通えなくて字が読めないと、どんな不自由があるかを体験 ・富の格差を視覚的に実感する体験 ※体験活動の数や内容は選択可能</p> <p>4 まとめ ・SDGsの目標、ユニセフの活動とSDGsの活動との関連 ・知ること、考えること、行動することの大切さ ・児童・生徒の感想、質問</p>	<p>1 ユニセフについて紹介</p> <p>2 ユニセフが目指す子どものための世界と「子どもの権利条約」について ・「子どもの権利条約」とは ・大切にしている4つの原則 ・見てみよう 条約の内容</p> <p>3 世界の子どもたちの権利に目を向ける ・一日の大半を水くみに費やすアイシャさんの動画を見て、アイシャさんがもてていない権利について考え、話し合う。</p> <p>4 自分たちが大切にしたい権利について ・身近なまわりで課題にしたいこと、大切にしていきたい権利について、学級やグループごとに話し合う。 ※4は、担任の願いや実態に応じて、話し合いたいことを計画、実施していただく。</p> <p>5 まとめ ・身近なところで権利が尊重されること、家庭、学校、地域、世界で、その意識を高め、行動していくことの大切さ ・児童・生徒の感想、質問</p>



授業風景



水運び体験

ユニセフの話を聞いて、SDGsがどれだけ大事なことがわかりました。

参加児童の感想

事前に打ち合わせをしたので希望通りの授業ができました。

担当した先生の感想

※体験活動を十分行うには2コマ必要ですが、内容をしぼり1コマで実施することも可能です。

☆学習のねらいや担当の先生の願いに応じて内容を変更します。

☆オンライン授業の場合は、基本1コマ45分です。体験活動の代わりに、岐阜県ユニセフ協会事務局にある支援物資などを映像で見てもらいながら説明します。

☆2023年は、小学校～大学まで、学年単位、委員会、全校などいろいろな場面で、22回(参加人数1802人)の児童生徒学生を対象に出前授業を行いました。(のべ77人のボランティアで実施)

※日本ユニセフ協会からお届けする「2024年度ユニセフ活動の手引き」もご覧ください。

手続きから授業実施までの流れ(ご希望日の2か月前までにご連絡ください)

- ①岐阜県ユニセフ協会のホームページから学習協力依頼票をダウンロードします。
- ②ファックスまたはメールで岐阜県ユニセフ協会に依頼票を送付してください。
- ③授業内容について事前打ち合わせをします。(オンライン等も活用)
- ④実施後、事後アンケートの提出にご協力ください。

※講師に対する謝礼は不要です。講師の交通費及び教材等の配送料のご負担のみ、お願いしています。

